

11. 介護予防を実施することで保険料の上昇はどの程度抑えられるのか。

今回の制度見直しを行わないと、10年後に第1号保険料は6,000円程度にまで上がることが見込まれています。

現在、第1号保険料（65歳以上の方）は、全国平均で3,300円ですが、制度見直しを行わなかった場合、10年後の平成25年度には、6,000円程度になることが見込まれています。

今回の見直しにより、介護予防の効果が相当程度進んだ場合には、10年後の保険料が4,900円程度にまで抑えられることが見込まれています。

今回の見直しにおいては、給付の効率化・重点化として、①介護予防を推進するとともに、②施設における食費・居住費の見直しを行うこととしていますが、介護予防の効果が相当程度進んだケースでは保険料が4,900円程度（△1,100円）に抑えられることが見込まれています。（そのうち介護予防による効果はおおむね半分程度）

第1号保険料（全国平均・各期平均1人当たり月額）の見通し—ごく粗い試算—

